



浦島デーの参観ありがとうございました

10月28～30日の午前、浦島デー（学校開放）を開催しました。三密を避けるために、例年とは違った形となりましたが、ご多忙の中、多数のお家の方にご参観いただきました。ありがとうございました。

今年初めての学校開放でしたが、生徒たちも普段とは少し違った緊張感の中、学習に励んでいました。



笑いの中に学びあり～人権講演会～

10月28日、落語家の桂こけ枝さんをお迎えし、人権講演会を行いました。全校生徒が体育館で、「こけ枝のほのぼの人権噺」という演題での、1時間の講演と落語を聞きました。「気にせんでええことは気にせんでええ」等の人生訓を、ユーモアを交えながら語ってくれました。生徒たちも笑いの中、真剣に耳を傾けていました。感想の一部を紹介します。



- こけ枝さんも言っていたけれど、気にしすぎると前に進めないの、明るく前向きに生きたいなと思いました。私も、ささいな日常の中でのつらいことばかりじゃなくて、おもしろいことを見つけて、友達や自分も笑顔にできるような人になりたいと思いました。
- こけ枝さんの話はとても面白く、ずっと耳に入ってきて「こういうことあるよな」とか「こういうことだな」とかたくさん考えることができました。普段の生活の中で、にこにこ笑って生きていくために、周りもにこにこ笑顔でいられるように、こけ枝さんの講演を聞いて考えたことを生かしてみようと思いました。
- 人生を楽しむには「気にせんでええことは気にせんでええ」ということが大切だと分かりました。こけ枝さんは「何を当たり前のことを言ってるんだと思うでしょう？」と言っていましたが、私はそれが当たり前とは思えませんでした。勉強や部活、人間関係にしろ、何かしたら不安になり、気にしなくてもいいことをひきずっていました。今でもしょっちゅうあります。だけどこの話を聞いて、心の奥にある重い何かが、少し軽くなった気がします。
- 私は、人と話すことを少し怖がっていました。もし失敗したら・・・もし変なことをしたら・・・なんてことを考えたりして、人前で話すことが苦手でした。でもやっぱりそんな気持ちも、別に気にしなくてもいいんだなと思いました。これからは気にせずにいこうと思います。より楽しい学校生活が送れそうです。
- 私自身、最近は家に帰って怒られることや受験に対する不安などから、笑顔でいる時間が学校だけという状況だったけれど、家族との会話を増やして気持ちよく家庭学習をしたいと思いました。桂さんは自分のことを「育毛剤」など、皆が笑うように話していましたが、桂さん自身が過去に悩んでいたことを知りびっくりしました。
- 「気にしない」ということは簡単そうですが、とても難しいことだと思います。笑ったり、楽しいことをしたりして自分の意識を変えることも大切ですが、周りの人が「気にさせない」ことも大切だと分かりました。「気にさせる」ような行動をしている人を見たときは、何らかの行動をとることが必要だと学ぶことができました。

●●保護者の皆様へ～砂原児童基金校外教育スポーツ奨学金事業奨学生募集(ご案内)●●●●

養育者や本人の熱意があるにも関わらず、経済的な理由等で学校外教育（学習塾やスポーツ教室等）を十分に受けることができない子ども達に対する育成事業として学校外教育にかかる費用（月謝、教材費等）を財団から支払う奨学金事業です。詳しい資料を希望される方は、学級担任にお申し出ください。